

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	地域高規格道路 <small>まつもと いといがわ らんく</small> 松本糸魚川連絡道路 一般国道 148号 <small>まついと いまい</small> 松系・今井道路	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県糸魚川市山本 <small>いといがわ やまもと</small> 至：新潟県糸魚川市上刈 <small>いといがわ うえかり</small>	延長	5.0km		
事業概要					
<p>松本糸魚川連絡道路は、長野県松本市と新潟県糸魚川市を結ぶ全長約100kmの高規格道路である。現道の一般国道148号は、糸魚川地域を南北に縦貫する唯一の道路であり、沿線住民の生活道路としての役割を担うほか、首都圏と北陸地方を結ぶ重要な物流路線ともなっている。</p> <p>しかし、姫川の浸水想定区域、線形不良箇所が存在するため、災害や事故の際の通行止めなど、道路ネットワークとしての信頼性が課題となっている。そのため、松系・今井道路は、沿線住民の命と暮らしを守り、安全で円滑な物流の確保、観光などの地域間交流の活性化など地方活性化を図るため整備が必要である。</p> <p>本事業は、バイパス整備により、物流の効率化、地域間交流の支援及び現道交通の安全性確保を目的とした延長5.0kmの道路事業である。</p>					
H31年度事業化		都市計画決定なし		R3年度用地着手	
R3年度工事着手					
全体事業費	約130億円	事業進捗率	約8%	供用済延長	— km
計画交通量	7,200～8,700台/日				
費用対効果分析効果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.6 <small>(残事業)</small> 1.8	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 97/111億円 事業費：94/107億円 維持管理費：3.8/3.8億円 更新費：0/0億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 179/179億円 走行時間短縮便益：121/121億円 走行経費減少便益：40/40億円 交通事故減少便益：11/11億円 冬期便益：7.4/7.4億円	基準年 令和5年	
感度分析の結果					
<small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=1.4～1.7（交通量±10%） <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=1.6～2.0（交通量±10%） <small>(事業全体)</small> 事業費：B/C=1.5～1.8（事業費±10%） <small>(残事業)</small> 事業費：B/C=1.7～2.0（事業費±10%） <small>(事業全体)</small> 事業期間：B/C=1.5～1.7（事業期間±20%） <small>(残事業)</small> 事業期間：B/C=1.7～1.8（事業期間±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の安全性向上が期待される。 ・物流円滑化による生産性向上が期待される。 ・第2次、第3次救急医療機関へのアクセス性向上が期待される。 ・第1次緊急輸送道路としての機能向上が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路新潟県ルート建設促進協議会」等各団体から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
・令和3年度、糸魚川駅北大火からの復興まちづくりとして実施している都市再生整備計画事業(第1期)が完了。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約59%、事業進捗率約8%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、トンネル、橋梁の工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
トンネル掘削土の転用等により、資源の有効利用とコスト縮減に努めている。					

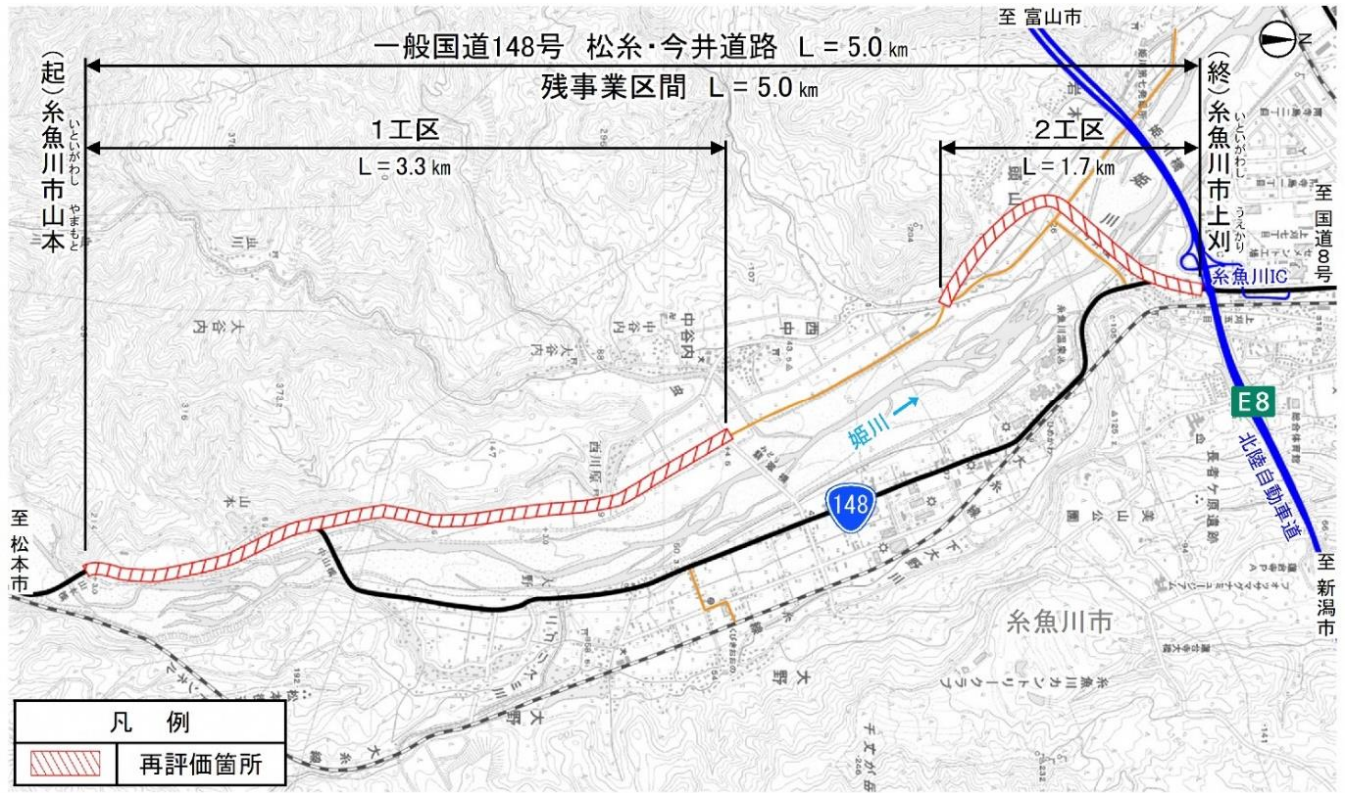
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。